

造形スタジオの《こども歳時記》

作って遊ぶ、季節の行事

春・夏・秋・冬—四季がある日本には、お正月、節分、桃の節句、端午の節句など、さまざまな季節の行事があります。それぞれの行事にいろいろな願いをこめて、親から子、子から孫へと伝えてきました。私たちのたいせつな文化の一つです。造形スタジオでは、

造形活動とおして季節の行事に親しむ《こども歳時記》を行っています。お正月といえば〇〇、節分といえば□□—というように、季節の行事と結びつく“もの”を思い浮かべ、それを手がかりに造形遊びを楽しむ、“つくってあそぶ”プログラムです。

楽しく造形遊びができるように、“環境”作りを工夫しています



だれもが思い浮かべる“もの”をテーマに

お正月、節分、桃の節句、端午の節句—いつもとはちがう特別なものを食べたり、かざったりする季節行事は、子どもにとっては大きな楽しみの一つです。一人ひとりの頭のなかには、〇〇の行事といえば□□というように、季節の行事と結びついた“もの”があります。例えば、子どもの成長を願う「端午の節句」。こいのぼりや武者人形が頭にうかびます。ちまきやかきわもちを思い浮かべる人もいます。

だれもが思い浮かべる“もの”をテーマにすると、造形活動に取り組みやすくなります。子どもたちも、小さいときから知っているので、作るものをイメージしやすくなるからです。季節の行事に造形活動をすることで、そこにこめられた思い、季節行事の意味などを改めて考えるきっかけにもなります。春夏秋冬という、季節の変化を感じることもできます。造形スタジオのスタッフは「生活に密着している季節の行事には、昔の人のちえがります。造形活動とおして、伝統や文化を伝えていくのも《こども歳時記》のねらいの一つ」と話しています。

郷土がん具などを参考にプログラムを考える

《こども歳時記》のプログラムを考えるときに、日本各地にある民芸品や郷土がん具を参考にすることがあります。使っている素材（紙、竹、土など）、形や動き（構造）など、造形プログラムを考えるためのヒントがいっぱいあるからです。『こども歳時記～端午の節句』（4月26日～5月5日）の親子コーナープログラム「端午のはじきゴイ」は、東京都や全国各地にある郷土がん具・はじきざるを参考にしました。竹ひごについているざるをはじくと、木登りするようにのぼっていくおもちゃです。

はねの役割をしている、うすくそいだ竹のかわりに塩ビ板を使い、さるではなく、こいが登っていくようにアレンジしました。竹ひごを飛ばすはねのように元気に登るこいです。端午の節句でいうかべる“こい”と、

郷土がん具の“形や動き（構造）”を結びつけたプログラムです。

プログラム作りのヒントは、ほかにもあります。造形スタジオでは、毎年、大きなテーマを決めて造形活動をしています。これらのテーマと結びつけてプログラムを考えることもあります。今年のテーマ「道と造形」と結びつけ、『こども歳時記～桃の節句』ではらせん状の“道”を“ひなだん”に見立てた「らせんびな」を作りました。



くるりコイ変化（へんげ）



らせんびな

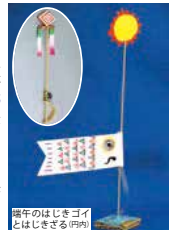
作ることも遊びの一つ。作る過程も楽しんでほしい

季節の行事は、子どもたちにとって楽しいもの。《こども歳時記》の造形プログラムも、作っているときもおもしろいし、できあがったあとも楽しいプログラム作りをめざしています。

プログラムによって造形活動していくなかで、紙を切る、穴をあける、こすり絵をつくる、紙をぐしゃぐしゃにする—など、たくさんのことを体験します。作ろうとしているもののイメージがはっきりしていると、一つひとつの体験もより楽しくなります。どのように切ればよいのか、どこに穴をあければよいのか、考えたり工夫したりしながら作業していると、つい夢中に。「作ることも、遊びの一つ」と、作る過程も楽しんでほしいとスタッフは話しています。

楽しく造形遊びができるように、活動する場所のふんいき作りも工夫。季節の行事にちなんだものをかざったり、民芸品などを展示したりして、季節感を伝えます。門松があるだけでも、気分はお正月。「見る体験」をとおして、イメージをふくらませて制作に取り組めるようにするために、お正月には千支にちなんだ全国各地の民芸品や郷土がん具を展示しています。今年の千支はうさぎ、うさぎといっても、ユーモラスだったり、かわいかったり、いろいろな形や表情のものがあります」とスタッフ。

《こども歳時記》では、行事にあわせた特別なプログラムを考えるというのではなく、季節行事から思い浮かぶ“もの”や、民芸品やこれまでに取り上げた造形遊びのプログラムからヒントをえて、プログラムを考えます。ちょっとかざりやほどこすなど、作る場所のふんいきを工夫すれば、より造形遊びを楽しむことができるのではないだろうか。



端午のはじきゴイとはじきざる(四折)



クリスマスごちそうハット

5月5日 「こどもの日」は とも入館無料!!
 (5歳以上1歳未満)

2011 ゴールデンウィーク 特別期間
4月29日(金)～5月8日(日)
 開館時間 10:00～17:30 入館料 500円
 入館料 小学生以下 400円 小学生以上 500円
 小学生以下 400円



お正月うさぎとプログラム作りの参考にした、熊本の民芸品「うさぎ」



4月17日 11時30分～ピロティ

【こどもの城】のマスコット マック・マックローといっしょに、こいのぼりをあげよう!
 こどもの城児童合唱団の
 すてきな歌声にのせて— **こいのぼりがいっぱい!**

おいでおいで みんなで一緒に遊ぼうよ

平成23年度
 児童福祉週間標語